

教員免許状更新講習会授業概要書（シラバス）

F1

大阪府立大学

講習名	素材を手掛かりに移動・伝播を考える----グローバル・ヒストリーの試みとして
-----	--

【概要】
 時代が下るにつれ人や物の移動、知識や情報の伝播が加速してゆく—歴史を見る中で、そんな印象を持つ人も多いのではないか。歴史の捉え方として「グローバル・ヒストリー」ということが提唱されるようになってしばし経つ。では、例えば「ヒト・モノ・知識情報などが移動したり伝播したりすること」に注目して歴史を考えてみたらどうか、そんな発想が今回の出発点である。本講習では「移動・伝播」をキーワードとして4名の講師が講義を行い、様々な具体例を提示する。またその際、映像・写真なり、宣言文・文献史料なり、何かしら具体性の高い素材を持ち寄ることにした。イメージ喚起の一助となれば幸いである。最後にディスカッションの時間を設け、各講義内容を俯瞰しつつ、改めて世界史（近代史）を捉えなおす試みとした。

日	時間割	担当者		授業内容
		所属・職名	氏名	
2019年8月7日（水）	9:00～9:10			オリエンテーション
	第1時限 9:10～10:10	高等教育推進機構・講師	永見 瑞木	「独立宣言」から見た世界史 概要：「独立宣言」が世界に放ったメッセージは、その後、いかに受け止められたのか。「諸帝国の世界」から「諸国家が織りなす世界」へ、「独立宣言」の伝播という視点がひらく世界史をたどってみたい。
	第2時限 10:20～11:20	高等教育推進機構・准教授	前川 真行	「移民」の時代 概要：ある都市計画の研究者は、現在のアメリカが「第五の大移動The Fifth Migration」の時期にさしかかっていると述べている。数次にわたる移民によって、形成された多民族国家アメリカは、その内部においてもダイナミックな移動によってその姿を変えてきた。本講義では移動のもたらす社会変動を映像資料をもとに展開してみたい。
	第3時限 11:30～12:30	高等教育推進機構・准教授	谷口 栄一	19世紀ヨーロッパにおける鉄道と文化・社会 概要：まずドイツを中心としたヨーロッパにおける初期の鉄道の歴史を概観したうえで、産業革命期の鉄道のもたらした文化・社会的影響について、さまざまな角度から、さまざまなトピックをもとに、考察してみたい。
	昼食休憩			
	第4時限 13:30～14:30	高等教育推進機構・准教授	櫻井 俊郎	「銀」の還流と近代世界 概要：世界の一体化について、かつては「大航海時代に始まる、ヨーロッパ主導によるもの」という語られ方が主流だった。当時、世界中を巡っていた貴金属の「銀」。世界各地の人々が採掘・精錬し、交換や納税・給与支払いに用い、貯めこんだ「銀」という物質を主語に据え、同じ時代を捉えなおしてみる。すると、また違った歴史像が見えてくる。
	第5時限 14:40～16:00	高等教育推進機構・准教授	前川 真行 (司会進行)	ディスカッション 概要：4人の講師の講義内容をもとに、関連する話題についてディスカッションを行う。
	試験 16:10～16:50			
	16:50～17:00			事後アンケート
持参するもの	筆記用具			
備考				